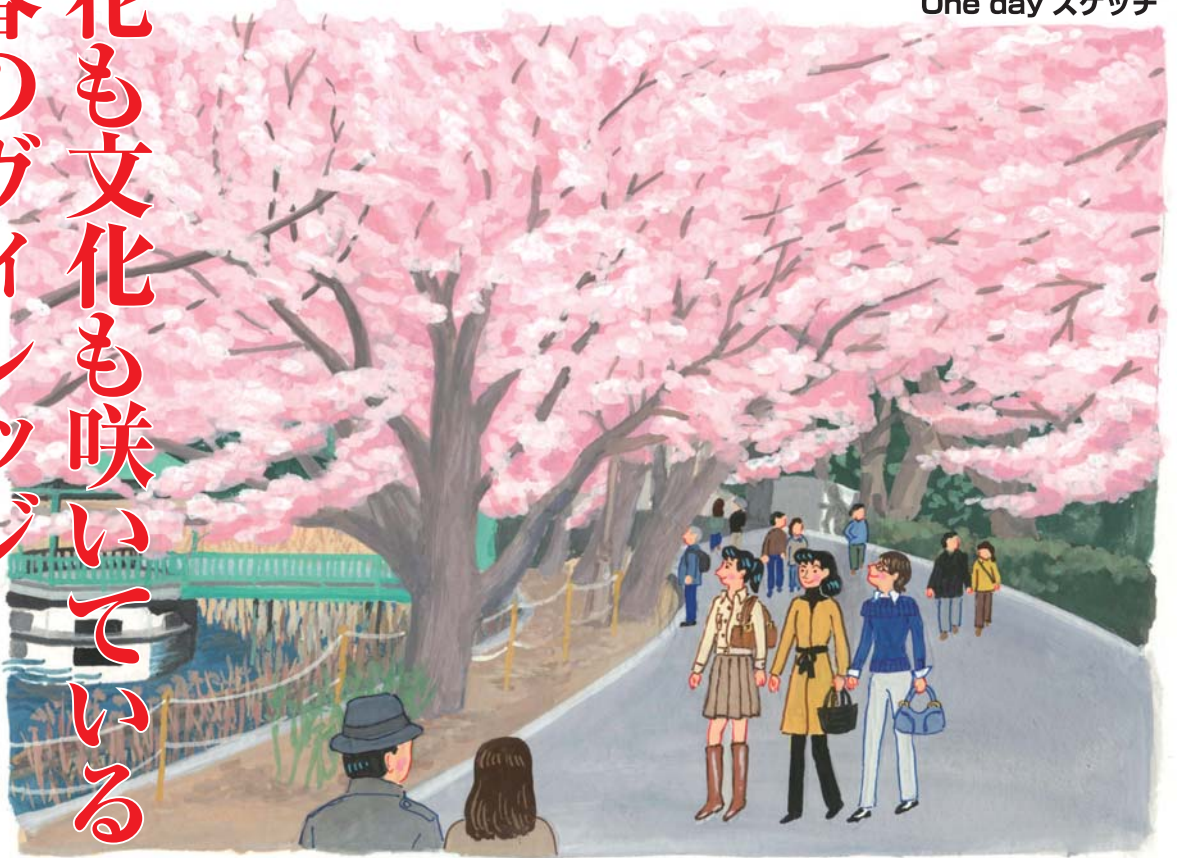


# 花も文化も咲いている 春のヴェイレッジ



こんにちは あずまです。今月は母と国谷さんと一緒に、大宮公園のお花見にやって来ました。桜だけではなく、母たちが大好きな盆栽もたっぷり鑑賞してきましたよ。(MAPのA)

## 今回の登場人物



国谷 幸子  
あずまの先輩講師で相談相手でもあり、趣味は家庭菜園。



業平 道子  
あずまの母親。小学生向けの英会話教室を経営する。趣味は園芸。



業平 あずま  
業平家の長女。母親が経営する英会話教室を手伝う。趣味は旅行。

## 東武鉄道路線マップ



# 大宮公園

(おおみやこうえん)

野田線の大宮から2つ目の駅。「大宮公園」が花の季節を迎えました。深い森に囲まれた園内に咲き誇る桜は、あまりにも有名です。し、日常の町を彩る桜並木からさえ、和やかな春がたただよいます。同時に、駅を起点として点在する多彩なエリアにも注目してみましよう。歴史を語る博物館あり、文化を伝える美術館あり、スポーツに残るスタジアムあり…これを総称して「ミュージアムヴェイレッジ大宮公園」と呼ばれます。ここでは、花も笑みもある町なのです。



大宮駅から2駅で『大宮公園駅』に到着しました。好天に恵まれて、お花見にも絶好の日和。大宮公園に入るとすぐ「埼玉県立歴史と民俗の博物館」があり、特別展『大名と藩』を開催中。ちょっと寄ってみました。



ここは古墳時代の遺物を集めた、常設展示の部屋です。埴輪や古代の鉄剣など興味深いものがズラリ。ほかにもまが玉づくりや江戸組紐ストラップづくり、絵巻物づくりなどが体験できるコーナーもありましたよ。



埼玉県には江戸時代、川越・蕨・岩槻の3藩があったんですね。この甲冑は埼玉県指定文化財の「黒糸威二枚胴具足」というもので、忍藩主が忍東照宮に奉納したものだそうです。

(MAPの⑧)



公園内の池のまわりを歩いて存分に桜を觀賞しました。約1200本の桜が咲く埼玉県有数のお花見スポットです。桜のあとは、氷川神社にもご挨拶。なんといっても武蔵一宮ですからね。

(MAPの⑨)

## 桜の花につつまれて

ミュージアムヴィレッジを楽しもう

駅に降りるとまず、「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」と書かれた大きな掲示板が目を引きまします。これは、このお花見で賑わう町に芽生えた、歴史と文化とスポーツの注目エリアへの道案内。「大宮公園駅」を起点に「氷川神社」「大宮公園」「歴史と民俗の博物館」「NACK5スタジアム大宮」「さいたま市立博物館」、さらに「大宮盆栽村」や「大宮盆栽美術館」「漫画会館」と、9つものカルチャー&スポーツエリアが、このヴィレッジに含まれます。興味も盛り沢山になります。いずれも徒歩圏内。お花見の行き帰りに立ち寄ってみれば、新しい発見に出会えます。

たとえば、埼玉百年の森の中に建つのが「歴史と民俗の博物館」。広々と心地よい空間で、旧石器時代から現代へと息づいてきた、人と文化の世界に触れます。3月20日からは、特別展『大名と藩』も開催。独自の視点から、江戸・武蔵国の存在がクローズアップされていきます。鑑賞後は森の小径をそぞろ歩きしましょう。眼下に開ける大宮公園の「ポート池」周辺は、絶好の観桜ポイント。アカマツの木立を背景に咲き乱れ、水面にまで影を映す花の鮮やかさ：格別の景観です。

一方、スポーツ愛好家には「NACK5スタジアム大宮」が見所です。ここは、東京オリンピックにも使われた日本初のサッカー専用球技場。あのロナウジーニョやマラドーナなど有名選手ゆかりの場所です。現存する国内最古のサッカー場といわれる今も、大宮アルディージャのホームスタジアムとして健在ぶりを見せています。



ここは「さいたま市立漫画会館」。日本近代漫画の先駆者・北沢楽天の作品・遺品のほか、漫画を幅広く紹介する展示室もあります。楽天の風刺漫画を継承しようと、さいたま市民漫画展も開催しているそうです。(MAPの㊸)



お昼に入ったのは「ウェディハウス」という、名前の通り木を使ったインテリアが特徴のお店です。日替わり定食(1750円)や、人気のオムライス(800円)をいただきました。いずれもコーヒーか紅茶付きです。(MAPの㊹)



屋外の盆栽庭園にも40~50点が展示されていました。この「虫段夷松」には目を見張ります。盆栽が描かれた浮世絵など絵画資料も興味深かったですよ。会館の周辺は盆栽園が集まった「大宮盆栽村」になっています。(MAPの㊺)



「さいたま市大宮盆栽美術館」にやって来ました。これは展示室の「座敷飾り」のコーナー。部屋の格式を書道のように真、行、草の3つに分け、それぞれに合わせた盆栽の飾り方を鑑賞できるという趣向です。(MAPの㊻)

「大宮公園」は、隣接する「武蔵一宮・氷川神社」の地を中心として明治18年に生まれました。一方、武蔵国第一の宮」とされる神社には、創立以来2000年を超える年月が宿るといわれます。今、美しく咲くソメイヨシノやシダレザクラにも、由緒深い歴史がたどっているようです。

「大宮公園」といえば、盆栽、鑑賞を目的に訪れる人も多いほど。大いなる自然の命を一鉢に表現する、この日本の美意識と技術は、国際的にも「BONSAI」と呼ばれ、高い評価を集めます。こうした盆栽文化を支え、発信するのが「大宮盆栽村」。そもそもは、江戸の頃から東京の千駄木界隈に集まっていた盆栽師たちが、関東大震災の被害により、この地に集団移住したことが始まりです。今は閑静な邸宅街の中、往時を偲ばせる5軒の盆栽園をめぐり、それぞれが丹精こめた作品の数々に接すると、やはり心が動きます。その意味では、一昨年にオープンした「大宮盆栽美術館」は殊におすすめ。庭園のある館内では、悠久の樹齢を重ねるコレクションの鑑賞をはじめ、盆栽にまつわる知識まで総合的に勉強できますから、ちょっとした盆栽通にだってなれるのです。

同じ盆栽村では、もうひとつユニークな「漫画会館」もリニューアルオープンしています。近代漫画の先駆者・北沢楽天の住居跡を活かした小さな美術館ですが、内容はたっぷり充実。楽天を顕彰する作品と資料の展示や、意欲的な企画展が開催され、いまや世界的になった日本の「MAN GA」芸術の薫りを楽しめます。



産業道路の脇に鎮座する「百体庚申社」です。60日に1回めぐってくる庚申の日に1体ずつ石像の猿を奉納したもの。それぞれが違う表情をしていて、見ると癒されます。(MAPの④)



大宮盆栽村のほぼ中央にある「盆栽四季の家」です。休憩室は無料で利用できます(9:00~17:00 年末年始休館)。1989年には埼玉景観賞を受賞した趣ある建物です。(MAPの⑥)



五葉松・青龍  
(さいたま市大宮盆栽美術館)



大宮公園データファイル

埼玉県立歴史と民俗の博物館・・・●交通=大宮公園駅徒歩5分 ●開館時間=9:00~16:30(7/1~8/31は~17:00) ●休館日=月曜(祝日・振休、県民の日は除く)、年末年始 ●入館料=一般300円/高校生・学生150円\*特別展『大名と藩』は一般600円/高校生・学生300円/中学生以下無料 ☎048-641-0890

〈さいたま市大宮盆栽美術館〉・・・●交通=大宮公園駅徒歩10分 ●開館時間=9:00~16:30(11月~2月は~16:00) ●休館日=木曜(祝日を除く)、年末年始、臨時休館日あり ●入館料=一般300円/高大生・65歳以上150円/小学生・中学生100円 ☎048-780-2091

〈さいたま市立漫画会館〉・・・●交通=大宮公園駅徒歩5分 ●開館時間=9:00~16:30 ●休館日=月曜(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始 ●入館料=無料 ☎048-663-1541

〈ウッディハウス〉・・・●交通=大宮公園駅徒歩2分 ●営業時間=11:00~20:00(ランチは11:00~15:00) ●定休日=日曜、祝日 ☎048-652-7817